

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	安全確保の為、玄関やユニット間の施錠を行っている。安全ベルトの使用。	希望に応じて入居者様が行き来しやすい様な環境づくりを行う。 状況を見ながら安全ベルトを使用しない方向にもっていく。	時間帯を決めて開錠を検討。 今以上に、定期的な検討会を行い。拘束解除に向けた取り組みを積極的に行っていく。	12ヶ月
2	35 (13)	災害対策、地域との協力体制が築けていない。	川副でのネットワークを通じて災害時の避難協力体制を作る。	川副ネットワークでの話し合いで協力体制を確立している最中である。川副ネットワークへの参加。	6ヶ月
3	4 (3)	運営推進会議のメンバーが少ない。定期的な開催が行えていない。	運営推進会議のメンバーの呼びかけ、定期的な開催できる。	家族会などに合わせて実施することで参加していただく等、工夫する。 他、地域への呼びかけを行う。	12ヶ月
4	49 (18)	日常的な、外出支援が行えていない。	天気、天候が良い時には外気に触れてもらう機会を設ける。	車いすの方でも、天気の良い日には日光浴を実施。外出支援、送迎事業者との連絡調整を行っている。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。